

(様式5)

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪市立弘済みらい園（児童養護施設）・弘済のぞみ園（児童心理治療施設）
施設所管課・担当	こども青少年局こども家庭課要保護児童グループ
条例上の設置目的	児童福祉法第41条に基づき児童養護施設を設置するもの（みらい園） 児童福祉法第43条の2に基づき児童心理治療施設を設置するもの（のぞみ園）
業務の概要	児童養護施設の管理運営及び児童心理治療施設の管理運営
成果指標	①退所児童の家庭復帰後半年間の現況把握率 ②苦情解決第三者委員会による苦情解決率
目標	①100% ②100%
指定管理者名	（社福）みおつくし福祉会
指定期間	令和4年4月1日～令和12年3月31日（8年間）
評価対象期間	令和5年度分

2 管理運営の成果・実績

成果指標	①	②
数値目標	100%	—
年度実績	100%	—
達成率	100%	—

利用状況（各年度3月1日時点）

	前年度	5年度	前年度比
利用人数	70	76	6
稼働率	87.5%	95.0%	7.5%

3 収支状況

収入		5年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	529,137,363	493,542,403	-29,258,637	入所児童数は増だが、計画は本市算定による指定管理代行料（措置費）の予算額であるため
	計画	558,396,000	563,548,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	29,168,184	39,673,986	29,168,184	委託料収入及び寄付金収益
	計画	0	0		
合計	実績	558,305,547	533,216,389	-90,453	入所児童数は増だが、計画は本市算定による指定管理代行料（措置費）の予算額であるため
	計画	558,396,000	563,548,000		

支出		5年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	389,116,563	387,368,876	389,116,563	
	計画				
管理運営費	実績	130,733,689	125,370,307	130,733,689	
	計画				
その他事業費 （自主事業支出）	実績			0	
	計画				
合計	実績	519,850,252	512,739,183	519,850,252	
	計画	0	0		

4 管理運営状況の評価

(1) 成果指標の目標達成状況

評価項目	市の評価	特記事項
①	B	自立支援担当職員を配置し適切に対応されたことにより、目標を達成している。
②	—	対象件数はなかった。

(2) 市費の縮減

市費縮減に係る取組状況	市の評価	特記事項
児童入所施設等措置費の基準に基づき業務代行量を支出しており、市費縮減については不可能	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	市の評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービス向上		
施設の管理運営	A	日常的な点検整備を欠かさず、入所者の安全に配慮しており、予防保全にも十分取り組んでいる。また、施設の小規模化に向けて、職員配置を見直し、リーダー育成の強化を図っている。 措置費における加算職員等、処遇向上のための職員加配に積極的に取り組んでいる点も評価できる。
施設の維持管理		
職員の配置状況		
安全管理		
市民サービスの向上	A	本施設は児童養護施設と児童心理治療施設の合築施設であり、単独設置施設では対応が困難な児童を積極的に受け入れるなど利用促進に取り組んでくれている。 また、施設内活動において、入所児童の満足度を高めるよう工夫を凝らした活動を展開している。
利用者満足度調査		
サービス向上策の実施		
利用促進策の実施		
事業計画の実施状況	B	児童入所施設運営として適切かつ良好である。
事業の実施状況		
施設の有効活用	B	同種別の施設や、同圏域内施設との連携を通じて職員のスキルアップに努めたり新たな情報確保に努めるとともに、地域子ども会への参画など果たすべき役割を担っている。
地域との連携		
他施設との連携		
社会的責任・法令遵守	B	適切かつ良好である。
勤務労働条件の確保		
個人情報保護対策		
環境への配慮		
就職困難者の雇用		

5 外部専門家意見

・心理治療、生活支援、教育支援、家庭支援などにおいて専門家や地域との連携を密に行い、児童のニーズに合わせた支援を実施している点が高く評価できる。 ・中高生の割合が高く、自立に向けた支援がより重要になってくるため、就職支援や進路指導など自立に向けた支援の一層の充実を期待する。 ・退所後の生活は、児童にとって大きな転換期となるため、就職支援や住居確保など、退所後の生活をサポートする体制の充実を期待する。 ・心身のケアに非常に配慮が必要なこどもたちを預かっておられる施設であるが、個別の支援とグループワークを用いた生活集団の形成に尽力されていることに、敬意を払いたい。特に、今後の家庭的養育体制の整備に伴う小規模ケア化に向けて、職員配置を見直しリーダー育成の強化を図り、人材育成に注力している点や、給食委員会・子ども給食委員会の組織化、各フロアに年間活動費を予算化し、職員と児童で計画的かつ即応的に活動ができるように運営していくなど、こどもたちの意見を聴き参画を促しながら運営している点は非常に評価できる。
--

6 総合評価

評価項目	評価	所見
成果指標の目標達成	B	目標達成している。
市費の縮減	B	児童入所施設措置費を運営財源としているため、市費縮減は不可能である。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	A	対応が困難な児童も積極的に受け入れ、専門家や地域との連携を図るとともに、個別的な支援と生活集団の形成に尽力されている。中高生の割合が高いため、今後は、就職支援や進路指導など自立に向けた支援や、退所後の生活をサポートする体制の充実に期待したい。
施設の管理運営		
市民サービスの向上		
事業計画		
施設の有効活用		
社会的責任・市の施策との整合	B	適切かつ良好である。
総合評価	B	